

農業委員会だより

新潟市西蒲区農業委員会 〒953-8666 新潟市西蒲区巻甲2690番地1 TEL.0256-72-8631



**新潟市食と花の銘産品に指定されている いちご「越後姫」
岩室地区のグラナリー高畑では出荷の時期を迎えています**

いあいさく



西蒲区農業委員会

会長 間宮 一

日頃より、農業委員会の活動に対し、ご理解、ご支援をいただき、ありがとうございます。

春の日を迎え、皆様方におかれましては、健やかに過ごしのことと、心からお喜び申し上げます。

さて、西蒲区農業委員会をはじめとして市内に6つあります農業委員会は、四月一日をもって統合され、新潟市農業委員会が新たに発足します。

新潟市農業委員会は、農

業委員24名、農地利用最適化推進委員160名、合計184名の大所帯となり、日本一大きな農業委員会として全国での発言力が強まると思われます。

西蒲区農業委員会は新潟市が政令指定都市に移行了た平成19年に発足し、優良な農地の確保と維持、農地の効率的な利用促進等の活動を通じ、地域の農業の発展・振興に向けて取り組んでまいりました。

これまでの活動に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今後は新潟市農業委員会西蒲区事務所として、窓口業務は今までもどおり継続されますので、引き続き、ご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

永年勤続委員等を表彰

令和3年度永年勤続委員等に対する表彰が、昨年11月22日に開催された新潟県農業委員会大会において行われました。

西蒲区農業委員会からは、農業委員3名と事務局職員1名が表彰を受けました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

勤続20年以上の農業委員

○間宮 一(右から二人目)

○笠原 和仁(右から三人目)

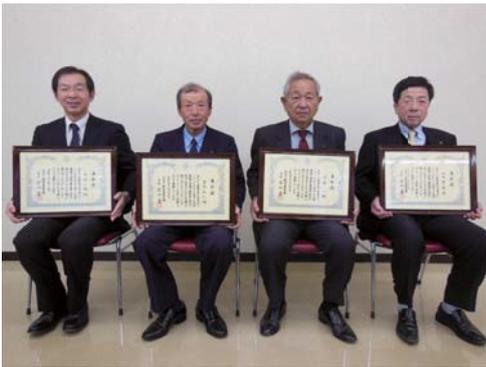
勤続15年以上の農業委員

○武田要一郎(右端)

勤続15年以上の事務局職員

○宮川 一也(左端)

(いずれも氏名敬称略)



新潟県農業委員会大会に参加



新潟県農業会議が主催する、令和3年度新潟県農業委員会大会が、11月22日、新潟市中央区の朱鷺メッセにおいて開催され、昨年度より続くコロナ禍において参加者の調整があったものの、当委員会より19名の委員が参加しました。

大会では、永年勤続委員等の表彰の後、農業委員会組織をめぐる情勢と今後の対応についての講演と取り組み事例報告がありました。また、議事としては、政府や関係団体への要請事項、農業委員会が取り組む申し合わせ事項が決議されました。

子どもたちに紙芝居を披露 大根の収穫も体験

当農業委員会の女性委員の皆さんが食育活動の一環として、農業や自然の恵みの大切さ、安全・安心な食への理解を深めてもらうために作製した紙芝居については、前号でも紹介しました。このたび、区内松野尾の圃場において、新潟市立松野尾保育園の子どもたちにこの紙芝居を披露し、併せて子どもたちが大根の収穫を体験しました。

この圃場は、当農業委員会が取り組む耕作放棄地解消プロジェクトの一環として、委員自らが整地、除草を行い、大根を育てているもので、紙芝居のストーリーの軸となっています。

子どもたちは紙芝居を観賞した後、参加した農業委員や推進委員の皆さん、保育園スタッフや保護者等と一緒に大根を収穫。最初は戸惑っていた子どもたちも慣れてくると、大人の手を借りずに大根が収穫できるようになり、晩秋の晴天の中、子どもたちの笑顔と歓声が広がりました。

収穫した大根は、保育園で給食の材料としてみそ汁や煮物などに活用されました。



委員の研修レポート

農地利用最適化推進委員
野澤 和吉(巻)



西蒲区農業委員会の活動として、茨城県つくば市「食と農の科学館」を視察してきました。国の農業技術研究を担う「農研機構」の職員の方から品種育成・開発等の研究について紹介してもらい、それぞれの地域に適した品種の開発が進められていることを知ることができました。ブドウ「シャインマスカット」の品種開発は美味しくて新しいものを供給してもらえたと感じました。また、農業技術発達資料館での見学は、農業技術発達の歩みの移り変わりを学ぶことができました。

自動化技術の進歩、災害対策は、持続していく農業にとって大切な取り組みだと思いました。農業におけるイノベーション技術革新、新たな概念が、持続や継承問題をカバーすることが可能になるよう期待すると共に、推進していければと思います。

令和3年度県外視察研修

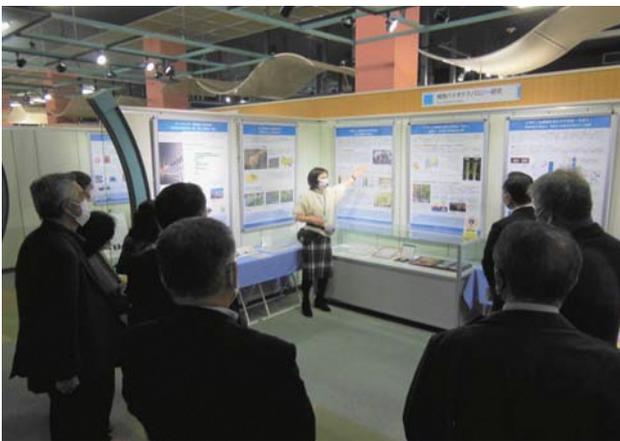
(茨城県)

令和3年度の県外視察研修については、依然として続く新型コロナウイルス禍の中、感染状況が比較的に落ち着いている時期を考慮して、12月16及び17日の二日間、感染予防策に配慮しながら、茨城県にある食と農の科学館、JA茨城旭村の農産物直売所を視察しました。

農研機構「食と農の科学館」

茨城県つくば市にある「食と農の科学館」は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）等の研究機関が行う、食料の安定供給や農業の付加価値化、地球温暖化適応技術等の研究の成果を展示、紹介する施設です。

館内には研究の成果や新しい技術が映像やパネル等でわかりやすく紹介されています。



JA茨城旭村特産物直売所「サングリーン旭」

茨城県銚田市は西蒲区と人口が同程度でありながら、農業産出額は新潟市全体よりも多く、特に野菜の農業産出額は日本一となっています。

視察した直売所は平成6年5月に開業し、銚田市の特産品であるメロンを中心にすいかやとうもろこし、イチゴ等、各種果物や野菜を販売しています。直近1年間の販売額は10億円を超え、銚田市近隣に関わらず、広く関東一円や首都圏からのお客さんが訪れているようです。また、コロナ禍において、インターネット販売の強化やドライブスルー販売も行うなどの工夫がされていました。



農地の賃借料情報の公表

令和3年中に締結(公告)された中間管理権の賃貸借における賃借料を情報提供します。
この賃借料はあくまでも目安ですので、実際に契約する際は、当事者間でよく話し合ってください。

令和3年の賃借料実勢価格情報

地目	地域	賃借料の実勢(10a当たり)			
		加重平均額	最高額	最低額	データ筆数
田	西蒲区	9,700円	30,000円	1,700円	3,149筆
畑	市内全域	9,800円	16,000円	1,000円	453筆

- ※ 田は西蒲区の加重平均、畑はデータ数が少ないため、新潟市全域の加重平均額です。
- ※ 田、畑とも算出結果を四捨五入し、100円単位で表示しています。
- ※ 田の土地改良費、米の生産調整の負担は両者で協議して決めてください。

令和4年度 各種申請・申し出・会議等日程表

農地法関係 締切	基盤強化促進法関係 申出・契約締切	調査委員会	西蒲区部会	定例総会	市公告
4月6日(水)	3月25日(金)	4月22日(金)	4月26日(火)	4月28日(木)	5月18日(水)
5月9日(月)	4月25日(月)	5月25日(水)	5月27日(金)	5月31日(火)	6月14日(火)
6月8日(水)	5月25日(水)	6月24日(金)	6月28日(火)	6月30日(木)	7月14日(木)
7月6日(水)	6月24日(金)	7月25日(月)	7月27日(水)	7月29日(金)	8月15日(月)
8月8日(月)	7月25日(月)	8月25日(木)	8月29日(月)	8月31日(水)	9月14日(水)
9月6日(火)	8月25日(木)	9月26日(月)	9月28日(水)	9月30日(金)	10月17日(月)
10月6日(木)	9月22日(木)	10月25日(火)	10月27日(木)	10月31日(月)	11月15日(火)
11月7日(月)	10月25日(火)	11月24日(木)	11月28日(月)	11月30日(水)	12月14日(水)
12月5日(月)	11月25日(金)	12月21日(水)	12月23日(金)	12月27日(火)	1月17日(火)
1月6日(金)	12月23日(金)	1月25日(水)	1月27日(金)	1月31日(火)	2月14日(火)
2月3日(金)	1月25日(水)	2月21日(火)	2月24日(金)	2月28日(火)	3月14日(火)
3月7日(火)	2月24日(金)	3月24日(金)	3月28日(火)	3月30日(木)	4月13日(木)

- ※ 4月からの農業委員会統合により、調査委員会、区部会は西蒲区で開催されますが、定例総会は新潟市農業委員会として江南区役所で開催されます。
- ※ 4月～7月の間、利用権設定(田)の申出受付は行いません。
- ※ 売買・交換について、やむを得ない場合は「随時」となります。
- ※ 日程が変更になった場合は、随時お知らせします。

全国農業新聞



NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

週刊 月4回(金曜日発行)

月 700円(税込) 年 8,400円(税込)

■購読の申し込みは、西蒲区農業委員会または地元委員へお気軽にご連絡ください。

■3か月無料のお試し購読もご利用ください。

農地所有適格法人は、農地の権利等の取得後も農地法に定める法人形態要件、事業要件、議決権要件及び役員要件を満たしている必要があるため、農地法第6条第1項の規定により、法人の事業年度終了後3か月以内に農地の権利等を有する農業委員会に事業の状況等を報告する義務があります。

必要となる書類とともに期限までに報告書の提出をお願いします。(経営農地が複数の市区町村にある場合、各市区町村に報告書を提出することになります)

農地所有適格法人による
報告書の提出について(お願)



(下記の案内もご覧ください)

農業者年金加入推進の活動は随時行っていますので、最寄りの農業委員、推進委員または事務局、農協各支店にお問い合わせください。

令和3年度農業者年金加入推進対策会議が、昨年12月10日に開催され、各地区の加入推進部長となっている農業委員、推進委員と女性委員、越後中央農協の関係者の皆さんが参加しました。これは、新潟県下統一の加入推進強化月間(11月～2月)にあわせましたので、当日は、担当者より活動の基本方針や活動計画等の説明があり、加入推進部長には啓発物資が配付されました。

農業者年金加入推進対策
会議を開催



農業者年金に加入しましょう！



加入要件すべてに
該当する方は農業者
年金に加入する
ことができます

- 【加入要件】
- ① 年間60日以上農業に従事する方
 - ② 国民年金の第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)
 - ③ 20歳以上60歳未満の方
※5月より65歳未満の方の加入が可能となります。

- 【特徴】
- ① 80歳までの保証がついた終身年金
 - ② 保険料(月額2万円～6万7千円)は、加入者が選択できます。
※1月から月額1万円～、に引き下げられました。(上限6万7千円)
 - ③ 公的年金のため、保険料は全額社会保険料控除の対象になります。
 - ④ 一定の要件を満たす若い農業者には保険料の国庫補助があります。

農業者年金がさらに便利になります！

1 若い農業者が加入しやすいよう保険料が引き下げられます。(令和4年1月から)

※35歳未満で認定農業者に該当しない等一定の要件を満たす方は、保険料の納付下限額が2万円から1万円に引き下げられ、月額1万円から通常加入できるようになりました。

2 農業者年金の受給開始時期の選択肢が広がります。(令和4年4月から)

※現在は65歳となっている年金の受給開始時期が、農業者老齢年金は65歳以上75歳未満の間、特例付加年金は65歳以上年齢制限なしとなって、ご自身で選択できるようになります。

3 農業者年金の加入可能年齢が引き上げられます。(令和4年5月から)

※現在は60歳未満となっている年金の加入可能年齢が引き上げられ、60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方も農業者年金に加入できるようになります。

詳細は独立行政法人農業者年金基金のホームページ (<http://www.nounen.go.jp>) をご覧ください。
問い合わせ先：西蒲区農業委員会 (☎0256-72-8631) または農協各支店へ

QRコードをお使いください

農業委員会のホームページや農業委員会だよりのバックナンバーを検索するには、QRコードを使うと便利です。



ホームページ
検索用



バックナンバー
検索用



農業委員会に
ついて



総会議事録



全国農地ナビ
農地を探す



県担い手協
遊休農地一覧

委員のリレートーク



農地利用最適化
推進委員
鈴木 隆
(岩室)

少しは慣れてきたでしょうか。でも、新型コロナウイルス禍の下では会議・研修・事業等、制限のある中で活動でありました。

特に昨年は米価が下落する中、収量の落ち込みによって生産者の収入が減り、周りの農家の方々も、昨年は大変だったという話ばかりでした。今年は少しでも良い年になるようお願いいたします。

西蒲区の農地利用最適化推進委員を務めさせていただいてから、あと少しで3年の任期を終えようとしています。1年目は何も知らない中、定例総会に出席しても農地法3条・4条・5条など専門用語の区別も理解もつかず、今後が不安になっていったものでした。2年目、3年目になると

私の集落では、三戸まで耕作者が減少しました。どこの地区でも同じでしょう。農家の高齢化と後継者不足で担い手が少しずつ減っています。5年後までは見通せても、10年後の先は見通しが立ちません。見慣れた

農業委員会の組織が変わります

昨年8月に発行しました農業委員会だよりでもお知らせしましたとおり、現在市内に6つある農業委員会が統合され、令和4年4月より「新潟市農業委員会」として新たに発足します。これに伴いまして「新潟市西蒲区農業委員会」は「新潟市農業委員会西蒲区部会」となり、現在の事務局は「新潟市農業委員会西蒲区事務所」となります。

なお、農地法関係の申請や利用権設定等基盤強化促進法関係の手続き、各種証明の発行等については、従来どおり、西蒲区役所内の西蒲区事務所において引き続き行います。

西蒲区農業委員会だよりについて

西蒲区農業委員会だよりは、新潟市西蒲区農業委員会として発足した平成19年より発行してまいりましたが、この統合により、本号が最終号となります。今までのご愛読、誠にありがとうございました。

統合後は新潟市農業委員会だよりとして発行される予定です。引き続きのご愛読をよろしくお願いたします。

農業委員会の主な動き (21.10月~22.2月)

委員とは、農業委員及び農地利用最適化推進委員です。

10月 6日	北信越ブロック農業委員会女性委員研修会 (委員3名)
7日	農業者年金加入推進特別研修会 (委員7名) 巻地区審査委員会 (委員9名)
15日	市内6農業委員会連絡協議会 (会長・職務代理)
25日	農政議員連盟との意見交換会 (会長・職務代理)
26日	10月調査委員会 (委員8名)
29日	10月定例総会 (委員32名)
11月 5日	第2回代表者会議 (委員11名)
12日	市内6農業委員会会長・事務局長会議 (会長)
17日	紙芝居披露と大根収穫 (委員8名)
22日	新潟県農業委員会大会 (委員19名)
25日	11月調査委員会 (委員8名)
30日	11月定例総会 (委員36名)
12月 7日	新潟県女性農業委員等研修会・総会 (委員3名)
7-8日	市内6農業委員会会長等研修 (会長)
10日	農業者年金加入推進対策会議 (委員9名)
13日	西川地区審査委員会 (委員8名)
16-17日	県外視察研修 (委員26名)
22日	12月調査委員会 (委員6名)
23日	農業委員会だより編集会議 (委員6名)
27日	12月定例総会 (委員31名)
1月 19日	巻地区審査委員会 (委員10名) 推進委員候補者評価委員会 (委員10名) 第3回代表者会議 (委員10名)
26日	1月調査委員会 (委員7名)
31日	1月定例総会 (委員11名)
2月 8日	市町村農業委員会役員等研修会 (委員5名)
18日	地域別農業委員会会長・事務局長会議 (会長・事務局長)
22日	2月調査委員会 (委員7名)
28日	2月定例総会 (委員19名)

